

第 19 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 支部幹事会議事録

支部長 山田 正信 (群馬大学)

第 19 回支部学術集会会長 長谷川 奉延 (慶応義塾大学)

日時：2018 年 9 月 8 日(土) 7 時 30 分～8 時 30 分

会場：中野セントラルパークカンファレンス 1 階「ルーム 2A」

出席者 (50 音順)

粟田卓也・江本直也・石川敏夫・石橋 俊・市原淳弘・伊藤 裕・犬飼敏彦・岡本高宏・駒津光久・齋藤 淳・七里眞義・島野 仁・鈴木眞理・曾根博仁・竹田 秀・田島敏広・竹内靖博・龍野一郎・田村哲郎・寺内康夫・永井 隆・西岡 宏・長谷川奉延・山内敏正・山田正信・横手幸太郎・事務局 (堀口和彦)

● 報告事項

1) 新役員挨拶

新役員である西岡宏(東京)、山内敏正(東京)、齋藤淳(神奈川)、江本直也(千葉)よりそれぞれ挨拶があった。

2) 第 18 回支部学術集会 2017 年 9 月 9 日(金)、10 日(土)

支部会長 山田 正信 (群馬大学) 報告

参加者数は 456 名 (一般会員 311 名、非会員 29 名、研修医・学生 39 名) 演題数は 117 演題 (一般口演 102 演題、教育講演・インストラクション 9 演題、イブニング・ランチョンセミナー 5 演題、女性医師・研究者支援企画 2 演題、特別講演 1 演題) 収支報告書のとおり、支出 16,877,237 円で、余剰金 15,203 円は支部会に繰り入れ、無事終了した。

3) 第 19 回支部学術集会 2018 年 9 月 7 日(金)、8 日(土)

支部学術集会会長 長谷川 奉延 (慶応義塾大学) 中間報告

過去最多の演題登録があり、初日は教育講演 3 題、イブニングセミナー 1 題を修了し、懇親会も盛会に終了した。例年通り、一般演題と研修医・学生セッションを対象に会長賞を選出する予定である。

4) 第 20 回支部学術集会 2019 年 9 月 13 日(金)、14 日(土)

支部学術集会会長 鈴木 眞理 (政策研究大学院大学) 報告

テーマ「内分泌代謝疾患 The road ahead～Body, Mind,そして、Life を診る～」。
上記日程で、場所は政策研究大学院大学内で開催する。

5) 女性医師専門医育成・再教育委員会 JES We Can の支部における活動報告

鈴木 眞理（政策研究大学院大学）報告

昨年度に引き続き福島県甲状腺検査の支援に女性医師を派遣した。昨年度の学術集会では「私たちのキャリアデザイン～女性医師・研究者の現状と問題点を年代別に考えよう」を企画し、20代、40代、50代の女性医師に講演を頂き、本学術集会では「Men's health, 小児から成人まで」を企画した。

6) 内分泌疾患コンサルタント委員会の活動報告

委員兩名とも欠席のため代理で山田 正信(群馬大学) 報告

今年度は、3件の相談があり、2件は専門医療機関を紹介し、3件目は回答待ち。長谷川 奉延(慶応義塾大学)より、3件目の実施が自施設で可能であることから、コンサルタント委員へ連絡を入れることとなった。

7) 平成 29 年度支部事務局収支決算報告

2017 年度収支報告書に基づいて支部長より報告。次期繰越金は、4,029,302 円であり、支部学術集会で必要がある場合は、補助金(200,000 円)を出すこと、今後支部会長が必要と判断した場合には、トラベルグラントを臨機応変に 1 万円程度出すことも検討することとなった。また、予算の使用法について、発表をした学生(研修医、レジデントも含める意見もあり)には、内分泌学に興味を持ってもらうために、全員何らかの賞を与え、5000 円程度のクオカード、奨励賞を与える意見があり、賞状のみでも喜ばれる可能性もあるため、来年以降支部学術集会会長の判断で用意することとなった。また、学生は 9 月はマッチングのため、土曜日の出席が困難であるため、金曜日に学生枠を設けることも検討される。

● 審議事項

1) 支部規約第 14 条より定年退職による後任監事の選定

<支部規約による任期満了の先生>

犬飼 敏彦（獨協医科大学）

後任は、後日獨協医科大学埼玉医療センター糖尿病内分泌・血液内科次期教授が決定次第推薦となる。

2) 移動、定年退職に伴う副支部長の選定

山田正三(東京)定年退職、小川佳宏(東京)移動のための新副支部長として、日本内分泌学会理事会へ支部長の代理出席が可能である内分泌学会理事から選出することとし、竹内靖博(東京)が選出された。残り 1 名については、現在理事選のため、選挙終了後に支部長から依頼することで承認された。地域性を考慮し、東京以外から選出する意見があった。

- 3) 副支部長 小川 佳宏(東京)、幹事 中田 正範(栃木)転出による後任幹事選定
小川佳宏の後任として、山田哲也(東京医科歯科大学)が支部長より推薦、選出・承認された。中田正範の後任として、島田朗(埼玉医科大学)が選出・承認された。
- 4) 監事 岡本 高広(東京)任期満了に伴う後任監事選定
岡本高広監事は任期満了のため、新幹事として承認された。後任として、新監事に杉原 仁(日本医科大学)が選出・承認された。
- 5) 事務局長 佐藤哲郎(群馬)辞退による後任事務局長選定
後任として、堀口和彦(群馬大学)が選出・承認された。
- 6) 第 21 回支部学術集会(2020 年度)会長の選出
会長として田村哲郎(新潟県立中央病院)が選出・承認された。
- 7) JES We Can 関東甲信越支部優秀演題賞設立について
鈴木眞理(東京)より、JES We Can 関東甲信越支部優秀演題賞を新たに設立する提案があり、案の一部を変更し、女性を対象した賞として、次回支部集会から設立することで承認された。
- 8) その他
方波見卓行(聖マリアンナ医科大学)、榎田紀子(東京大学)が新幹事に推薦・承認された。
支部長より、支部規約 第 6 条 支部幹事 15 名以上 30 名まで の項について 15 名以上約 30 名まで と変更する議題が提案され、変更することで承認された。
地域のバランスを考慮し、茨城県から 2 名程度、また、綿田裕孝(順天堂大学)、田中知明(千葉大学)を今後幹事に推薦、その他の地域でも適任者がいる場合は、事務局に後日連絡することとなった。

以上(敬称略)